



避難・日ごろの備え



菊川市指定避難所・指定緊急避難地一覧

※令和3年3月現在

避難所・避難地名称	所在地	指定避難所		指定緊急避難地	福祉避難所※1
		地震災害時	一般風水害時		
堀之内小学校	西方2140	○		○(グラウンド)	
加茂小学校	加茂5114	○		○(グラウンド)	
内田小学校	下内田1637	○		○(グラウンド)	
横地小学校	東横地1886	○	○	○(グラウンド)	
六郷小学校	本所2200	○		○(グラウンド)	
河城小学校	吉沢556	○		○(グラウンド)	
小笠北小学校	嶺田59	○	○	○(グラウンド)	
小笠南小学校	高橋3503	○		○(グラウンド)	
小笠東小学校	川上1348-2	○	○	○(グラウンド)	
菊川西中学校	加茂38	○		○(グラウンド)	
菊川東中学校	本所670	○		○(グラウンド)	
岳洋中学校	下平川5430	○		○(グラウンド)	
保養センター(小菊荘)	大石88	○		○(グラウンド)	
中央公民館	下平川6225	○			
市民総合体育館※2	赤土1070-1	○		○(駐車場)	
県立小笠高校	東横地1222-3	○(体育館)		○(運動場)	
常葉大学附属菊川中・高校	半済1550	○(体育館)		○(運動場)	
菊川南陵高校	河東5442-5	○(体育館)		○(運動場)	
西方地区センター	西方2300-1		○		
町部地区センター	堀之内1500		○		
加茂地区センター	加茂5112		○		
内田地区センター	下内田1730		○		
横地地区センター	土橋28				
六郷地区センター	本所2406		○		
河城地区センター	吉沢451-1		○		
牧之原農村婦人の家	牧之原227-5	○	○	○(駐車場)	
青葉台コミュニティセンター	青葉台1-12-2	○	○	○(駐車場)	
嶺田地区コミュニティセンター(みねだ会館)	嶺田1273				
平川コミュニティ防災センター(ひらかわ会館)	下平川1835		○		
小笠南地区コミュニティセンター(みなみやま会館)	高橋3669-1		○		
小笠東地区コミュニティセンター(くすりん)	川上1371-2				
布引原南公民館	赤土2250-7	○	○		
和松会(松秀園)地域交流部分	高橋2774-1	○			○※1
白翁会(喜久の園)うらら部分	仲島2-4-16	○			○※1
白翁会(光陽荘)	潮海寺682-1	○			○※1
草笛の会(草笛作業所)(令和7年3月削除)	上平川7-1	○			○※1
草笛の会(かすが)	上平川7-1	○			○※1
草笛の会(菊川寮)	東横地133	○			○※1
和松会(清松園)	棚草1284	○			○※1
東遠学園(東遠地区生活支援センター)	西方4345-2	○			○※1
Mネット東遠(地活センター含む)	赤土1660-1	○			○※1
Mネット東遠(さくがわ作業所)	本所1407-4	○			○※1
丹野運動場	丹野932-1			○	

※1 要配慮者等のための避難所であり、開設の有無については菊川市災害対策本部で決定するため、ただちに開設されるものではありません。
 ※2 市民総合体育館は、原子力災害時に避難所として使用する。

○指定緊急避難地…災害が発生したとき、身を守るために一時的に逃げる場所(公園、グラウンドなど)
 ○指定避難所…住居が被災し、倒壊等で生活ができなくなった人が一時的に生活するための場所(市町に指定された学校など)

災害時の情報

風水害

地震

避難・日ごろの備え

ハザードマップ



避難時の生活

避難時の生活

災害時に、円滑な避難所運営を行うためには、行政機関だけでなく、施設管理者や避難所を利用する地域の方々の協力が不可欠です。また、避難所生活では決められたルールを守り、周りに迷惑をかけないように配慮が必要です。

避難所の運営

避難所の運営は自主運営を原則とします。避難所の運営が特定の人々の過重な負担とならないように、避難所を利用する人（避難所以外の場所に滞在する人を含む）の年齢、性別、国籍などに関係なく、可能な限り役割分担を行い、より多くの人々が避難所の運営に参画できるよう、交替や当番などにより対応するようにしましょう。



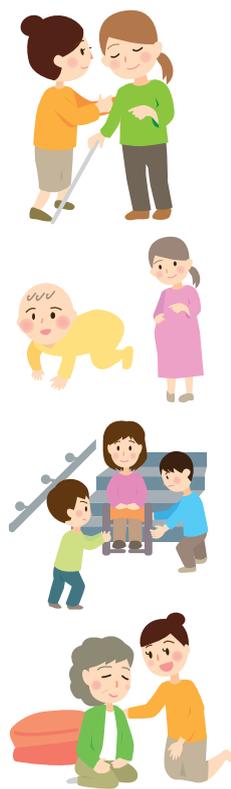
避難所内でのマナーとルール

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の避難所生活では、狭い・寒い・トイレが使えないなどの過酷な住環境、うるさい・臭いなどの集団生活によるトラブルの発生、ストレスからくる持病の悪化などの問題が発生し、このようなつらい避難所生活のために亡くなった方もいました。避難所生活は共同生活です。マナーとルールを守り、みんなで支えあいましょう。

- 1 ゆずりあいの心をもって生活しましょう。
- 2 共同生活の和を乱さないように、決められたことを守りましょう。
- 3 お互いのプライバシーを尊重し、むやみに他人の場所に立ち入らないようにしましょう。また、郵便物なども必ず本人に届くよう、ルールを決めて対応しましょう。
- 4 室内は原則、火気厳禁・禁煙です。
- 5 トイレは最も密接な共有施設です。汚してしまったら、自分できれいにしましょう。仮設トイレの場合はなおさらです。
- 6 ゴミの分別を徹底し、ゴミ集積場は清潔に保ちましょう。

- 7 介護が必要な人は、原則として家族が介護を行ってください。（ただし、家族がいない人や家族だけでは対応しきれない場合は、避難所運営の役員へ相談しましょう。そのためには、あらかじめ自主防災組織の避難行動要支援者名簿に登録しておきましょう。）福祉避難所が開設された場合、移送も考えます。
- 8 お年寄りや身体の不自由な方、乳幼児を抱えた方など、要配慮者への気配りを心がけてください。
- 9 救援物資の配給が始まったら、秩序ある配分を心がけ、要配慮者に優先して配給しましょう。
- 10 避難所から別の場所へ移動するときには、必ず避難所の運営組織役員等に一声かけてください。

※静岡県公式ホームページより





避難・日ごろの備え

災害時の情報

風水害

地震

避難・日ごろの備え

ハザードマップ



災害に備え、備蓄をしましょう

家庭用の備蓄で必要なもの

- 飲料水…7日分（1人1日3リットルが目安）
- 非常食…7日分の食料として、ご飯（アルファ化米など）、ビスケット、カップラーメン、乾パンなど
- トイレットペーパー、ティッシュペーパー、常備薬、カセットコンロ、ガスボンベ、マスク、消毒液などの感染症対策用品など
※大災害に備え、1週間分程度準備するのが望ましい。



ローリングストック（循環備蓄）とは…

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストックといいます。ローリングストックのポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざというときにも日常生活に近い食生活を送ることが可能となります。



高齢者・乳幼児・妊婦・食物アレルギー・慢性疾患の方などがいる場合の注意点

高齢者・乳幼児・妊婦・食物アレルギー・慢性疾患の方などがいる場合には、通常の備蓄だけでなく、それぞれの方に合わせた備蓄が必要となります。粉ミルクやおむつ、医薬品や食物アレルギーに対応した食料品等を準備しておく必要があります。



安否確認の方法

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず安否確認ができるように、家族で普段から話し合っておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなり、連絡を取るのが難しくなります。災害用伝言ダイヤル「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができ、安否確認が可能になります。



安全確認旗について

安全確認旗とは災害時（震度5弱以上）に使用する旗で、玄関先など見やすい場所に出しておくことで自主防災組織・警察・消防・自衛隊や近所の人などに無事を知らせるものです。けがなどで動けない場合は安全確認旗を出さない・出せないことで救助を求めることができます。

危機管理課で配布しています。



応急手当のポイント

災害時には救急車を呼んでもすぐに到着できないことがあります。けが人などを確認した場合は、救急車が到着するまでの間、適切に応急手当を行いましょう。

出血時の応急手当

けが人が出血している場合は、感染防止のため、ゴム手袋やビニール袋などを使用し、直接血液に触れることのないように注意しましょう。

直接圧迫止血法

出血している傷口をガーゼやハンカチなどで直接強く押さえて、しばらく圧迫することで止血を行う方法です。まず直接圧迫止血法を行い、さらに医師の診療を受けるようにしましょう。



熱傷(やけど)の応急手当

やけどの程度は、その広さ、深さ、場所によって決まります。やけどをした部分が「広い」ほど、「深い」ほど危険なため、早急な手当が必要でます。

- 急いで冷たい水、水道水を注いで痛みが取れるまで冷やします。
- 衣類は無理に脱がさず、そのままの状態ですぐ冷やします。
- 水ぶくれはつぶさないで、消毒した布か洗濯した布で覆い、その上から冷やします。



AED(自動体外式除細動器)を用いた除細動

突然の心停止、その中で特に多いのが心室細動(心臓のけいれん)によるもので、発生した場合は早期の除細動(けいれんを止めること)が救命の鍵となります。AEDの音声メッセージに従うことにより、市民の皆様でも対応できます。

- 1** 電源を入れると音声の指示が始まります。
- 2** 電極パッドをはります。位置はパッド等にも描いてあるので、それに従います。
- 3** AEDが自動的に音声などで指示を出します。「離れて」とまわりの人に注意します。
- 4** だれも触れていないことを確認し、ショックボタンを押します。

